

Deep Blue Delay



User' s Manual

BJF が設計したアンビエント・ディレイペダル Deep Blue Delay(DBD) は、アナログダイレクトシグナルパスを採用したナチュラルサウンドのデジタル / アナログディレイです。

- ・クラシックなテープエコーユニットとほぼ同じ帯域幅を持ち、アンプのインプットの前段でもアンプのエフェクトループに接続しても使用できます。
- ・ノイズリダクションを搭載していないため、エコーの減衰を極限までナチュラルにキープすることができます。
- ・ダイレクトシグナルパスが短く設計されており、フィルタリングのないアナログアンプで構成されています。
- ・入力レベルが許容最大値を上回らなければ音色の歪みや音痩せはありません。
- ・エコーシグナルは、極端な設定でも干渉のない状態を可能にするフィルタリングで調整されています。

このディレイは、歪ませたトーンでも支障なく動作するように特別に設計されています。これは、ディレイエフェクトで見られる不具合に対する最も重要なアプリケーションで、このペダルは歪みの前段でも後段でも使用することが可能です。もちろん、エコー帯域幅やリピート音の形成に関して要求があまり厳しくないクリーンサウンドにおいては、さらに良い状態で機能します。そのトーンは、最初のクリティカル・リフレクションと、それがどのように減衰をリピートするかということに細心の注意を払って丁寧にチューニングされています。

DBD は、コンパクトなサイズのシャーシ (幅 69mm x 長さ 111mm x 高さ 50mm) にベーシックなディレイ機能を備えています。Delay Time、Delay Level、Repeat コントロールで構成されており、ヴィンテージのテープ・エコーのようなアンビエント・ディレイとして機能するように設計されました。設定も簡単で、ディレイタイムの設定の重要度が低いように取って設計されています。ディレイタイムが 120ms 以上の設定のときにディレイタイムが拍もしくは拍の倍数設定になるケースがありますが、良いサウンドを作り出すために必ずしもその設定にする必要はありません。

多くの点において、オールドドラム、テープ、金属糸、アナログ BBD やデジタルといったディレイメディア自体がどれかということは重要ではなく、最終的なサウンドはディレイメディアの限界とその効果を生み出すのに必要となる周辺回路によって常に設定されます。Mad Professor では、コンパクトで安定性が高く、妥当なディレイタイムを備え、回路の限界の重要性がそこまで高くないデジタル設計をセレクトしました。結果として、ディレイメディアの確定的な制限をあまり考慮せずに、設定したい帯域幅と歪みレベルで周辺回路を設定することができます。

アナログ形式の同様の回路は、製造するには過度に高価になります。しかも同じ性能を得るには、ピンテージパーツとしてしか入手できない最高の BBD チップの 3~4 個が必要で、ペダルのサイズは現在のサイズの約 3 倍でなければなりません。

コントロール

LEVEL : ディレイシグナルをギタートーンのドライシグナルとミックスするレベルを設定します。反時計回りいっぱいには設定するとストレート(ノンエフェクト)なギター信号のみ、時計回りいっぱいには設定の時は最も大きなディレイエフェクトとなります。

DELAY : 反時計回りいっぱいでは 5ms~時計回りいっぱいの 450ms まででディレイタイムをコントロールします。

REPEAT : ディレイシグナルのリピートをコントロールします。反時計回りいっぱいでは 1 回 のみのリピート、時計回りいっぱいでは無限のフィードバックを作り出します。

ELECTRICAL SPECIFICATIONS

Current consumption : 32mA at 9VDC

Supply voltage range : 8V to 15V (7.5V 以下で ディレイシグナルがミュートされます)

Input impedance : I_Z 180k ohm

Output drive capability : 10k ohm

Maximum input voltage : 2V peak 650 mV rms

Signal to noise ratio : 80 dB

Delay time : 25 ms to 450 ms

Complete bypass and input of circuit grounded when in bypass

POWER REQUIREMENTS

006P/6F22 9V バッテリー or パワーサプライ (センターマイナス /2.1 mm プラグ)

注意

故障や損傷の可能性がありますので、底パネルを取り外した状態でのご使用はお止めください。

NOTES

DBD には間違った電源極性の接続から守るプロテクションを搭載しています。最適なサウンドを得るためには推奨電圧でご使用ください。

製品の改良等により、予告なく仕様が変更となることがございますので予めご了承ください。正規輸入品以外は保証・修理の対象外となりますのでご注意ください。

KYORITSU CORPORATION

〒468-0002

愛知県名古屋市中白区焼山 1 丁目 813 番地

カスタマーサポート

E-MAIL : support@kyoritsu-group.co.jp